

| | | |
|-------|----------|-----|
| 犀桜小学校 | 小学校教科推進校 | 体育科 |
|-------|----------|-----|

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 進んで運動に取り組む手立て

① 教材教具の工夫

児童が自ら進んで運動したくなるように、教材教具に一手間加え工夫する。

② 準備運動の工夫

主運動をスムーズに進めるために、主運動の動きに関連した準備運動を工夫する。

③ 振り返りの充実



教具を使用して準備運動する姿

(2) 重点2 関わり合いながら運動する手立て

① 主運動の工夫

多様な関わり合いができるよう場、ルール・規則、学習形態を工夫する。

② ICT の活用

課題を解決するために関わり合う手段の一つとして ICT を活用する。



関わり合い、話し合う場面

2 取組の検証

児童アンケート

| <重点1・2の肯定的評価> | 1学期初め | 2学期末 |
|-------------------------------|-------|-------|
| 体育の時間に、進んで運動している（重点1） | 96.1% | 96.2% |
| 体育の時間に、友達から学んだり協力したりしている（重点2） | 94.8% | 96.6% |

研究授業等を通して教職員が重点について共通理解し実践したことで、昨年度からの高い肯定的評価を、今年度の研究でも引き続き高いまま継続することができた。

3 成果と課題

成果・教材教具の工夫による児童の意欲のさらなる向上

- ・関わり合いの場の工夫による、自分たちに合った規則やルールを話し合う場での児童の積極的な参加
- ・意欲、経験の増加からさまざまな運動を楽しむ姿の増加
- ・タブレットという具体の使用による、話し合いの活性化

課題・話し合いの時間と運動量確保の両立

- ・運動能力の差と関わり合いの場の設定のバランス
- ・ICTのより効果的な活用方法

